

国際姉妹都市 イーグルポイント市を表敬訪問



村長や村議会議員、職員など総勢8名がアメリカ合衆国・オレゴン州イーグルポイント市の独立記念行事への招待を受け、出席しました。

イーグルポイント市と昭和村は、平成17年度に国際姉妹都市提携を締結。以来、中学生の海外交流事業として、毎年中学生の派遣および受け入れを実施しています。

今回の訪問は、令和7年度にカシー市長をはじめ、イーグルポイント市関係者が「昭和の秋まつり」に来村し、イーグルポイント市が開催するアメリカ独立250周年記念式典への招待を受けたことで実現しました。

7月3日、午前9時に役場を出発した一行は、シアトル経由で、メドフォード空港へ。空港では、カシー市長や関係者に出迎えていただきました。

翌日、現地時間の7月4日午前8時30分に、一行はホテルを出発し、アメリカ独立250周年を祝うため開催されるパレードの会場に移動しました。

午前11時から始まったパレードでは、高橋村長がカシー市長とオープンカーに同乗し、村議会議員はトロリーバスに乗り、沿道を埋め尽くす観客の声援に手を振って応えていました。



①高橋村長(右)から贈られた浴衣に身を包むカシー市長(左) ②イーグルポイント市庁舎前で関係者と ③花火を打ち上げ建国250周年を祝う ④豪華に彩られた山車がパレードを盛り上げる ⑤以前村を訪れた学生たちが日本の国旗を掲げながらパレードに参加 ⑥トロリーバスに乗り沿道の観客に手を振る永井議長ら

